

07

校種・教科等	高等学校・保健体育	受審番号		氏名	
--------	-----------	------	--	----	--

高等学校『保健体育科』 模擬授業課題

(1) 日 時	令和6年〇月〇日 第〇校時 (50分)																										
(2) 場 所	2年1組教室																										
(3) 学年・学級	第2年1組 (40名)	使用教科書	現代高等保健体育 (大修館出版) P118~119																								
(4) 単 元 名	健康を支える環境づくり (ウ) 保健・医療制度及び地域の保健・医療機関																										
(5) 指導する生徒の状況	<p>【既習事項】中学校では、社会の取組として地域には保健所や保健センターがあることや個人の取組として各機関が持つ機能を有効に利用する必要があることについて学習している。また、住民の健康診断や健康相談など地域の保健活動についても学習している。さらに、心身の不調の場合は、できるだけ早く医療機関を受診することや医薬品の主作用及び副作用、使用方法についても学んでいる。</p> <p>【単元のねらい】</p> <ul style="list-style-type: none"> 健康を支える環境づくりについて、自他や社会の課題を発見し、その解決を目指した活動を通して、理解を深めることができるようにする。 (ウ) 生涯を通じて健康を保持増進するには、保健・医療制度や地域の保健所、保健センター、医療機関などを適切に活用することが必要であることを理解することができるようにする。また、医薬品は、有効性及び安全性が審査されており、販売には制限があることや疾病からの回復や悪化の防止には、医薬品を正しく使用することが有効であることについて理解することができるようにする。 健康を支える環境づくりに関する情報から課題を発見し、健康に関する原則や概念に着目して解決の方法を思考し判断するとともに、それらを表現することができるようにする。 <p>【生徒の状況】 個人思考の場面では考えが出にくい生徒が数名いるため、授業ではペア及びグループ活動を多く取り入れている。活動をする際には積極的に取り組むことができるが、一部の生徒の意見に偏っている場面が見受けられる。</p>																										
(6) 指導計画 (全5時間)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>次 (時数)</th> <th>学習内容</th> <th>活動・指導形態</th> <th>評価計画</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>第1次 (1時間目)</td> <td>我が国の保健・医療制度 ・人々の健康を支えるための保健・医療制度が存在し、行政及びその他の機関などから健康に関する情報、医療の供給、医療費の保障も含めた保健・医療サービスなどが提供されていること。</td> <td>一斉 個人 ペア</td> <td>知識</td> </tr> <tr> <td>第2次 (1時間目) <本時> P118~119</td> <td>地域の保健・医療機関の活用① ・健康を保持増進するためには、検診などを通して自己の健康上の課題を的確に把握し、地域の保健所や保健センターなどの保健機関、病院や診療所などの医療機関及び保健・医療サービスなどを適切に活用していくことが必要であること。 ・心身の健康の保持増進にとって、豊かなスポーツライフの実現が重要であることから生涯スポーツの実践を支える環境づくりやその活用についても説明すること。</td> <td>一斉 個人 グループ</td> <td>知識 思 判 表</td> </tr> <tr> <td>(2時間目)</td> <td>地域の保健・医療機関の活用② ・健康を支える環境づくりにおける事象や情報などについて、健康に関わる原則や概念を基に整理したり、個人及び社会生活と関連づけたりして、自他や社会の課題を発見すること。 ・地域の保健・医療機関やスポーツ施設の活用の仕方について、関連した情報を整理し、生活の質の向上に向けた課題解決に応用すること。</td> <td>個人 グループ</td> <td>思 判 表 態度</td> </tr> <tr> <td>第3次 (1時間目)</td> <td>医薬品の制度とその活用① ・医薬品は医療用医薬品、要指導医薬品、一般用医薬品の三つに大別され、承認制度によってその有効性及び安全性が審査されていることや販売に規制が設けられていること。 ・疾病からの回復や悪化の防止には、個々の医薬品の特性を理解した上で、使用方法に関する注意を守り、正しく使うことが必要であること。</td> <td>一斉 個人 グループ</td> <td>知識</td> </tr> <tr> <td>(2時間目)</td> <td>医薬品の制度とその活用② ・医薬品の制度とその活用について、医薬品には承認制度があり、販売に規制が設けられていることと関連付けながら、生活の質の向上のために利用の仕方を整理すること。</td> <td>グループ</td> <td>思 判 表</td> </tr> </tbody> </table>			次 (時数)	学習内容	活動・指導形態	評価計画	第1次 (1時間目)	我が国の保健・医療制度 ・人々の健康を支えるための保健・医療制度が存在し、行政及びその他の機関などから健康に関する情報、医療の供給、医療費の保障も含めた保健・医療サービスなどが提供されていること。	一斉 個人 ペア	知識	第2次 (1時間目) <本時> P118~119	地域の保健・医療機関の活用① ・健康を保持増進するためには、検診などを通して自己の健康上の課題を的確に把握し、地域の保健所や保健センターなどの保健機関、病院や診療所などの医療機関及び保健・医療サービスなどを適切に活用していくことが必要であること。 ・心身の健康の保持増進にとって、豊かなスポーツライフの実現が重要であることから生涯スポーツの実践を支える環境づくりやその活用についても説明すること。	一斉 個人 グループ	知識 思 判 表	(2時間目)	地域の保健・医療機関の活用② ・健康を支える環境づくりにおける事象や情報などについて、健康に関わる原則や概念を基に整理したり、個人及び社会生活と関連づけたりして、自他や社会の課題を発見すること。 ・地域の保健・医療機関やスポーツ施設の活用の仕方について、関連した情報を整理し、生活の質の向上に向けた課題解決に応用すること。	個人 グループ	思 判 表 態度	第3次 (1時間目)	医薬品の制度とその活用① ・医薬品は医療用医薬品、要指導医薬品、一般用医薬品の三つに大別され、承認制度によってその有効性及び安全性が審査されていることや販売に規制が設けられていること。 ・疾病からの回復や悪化の防止には、個々の医薬品の特性を理解した上で、使用方法に関する注意を守り、正しく使うことが必要であること。	一斉 個人 グループ	知識	(2時間目)	医薬品の制度とその活用② ・医薬品の制度とその活用について、医薬品には承認制度があり、販売に規制が設けられていることと関連付けながら、生活の質の向上のために利用の仕方を整理すること。	グループ	思 判 表
次 (時数)	学習内容	活動・指導形態	評価計画																								
第1次 (1時間目)	我が国の保健・医療制度 ・人々の健康を支えるための保健・医療制度が存在し、行政及びその他の機関などから健康に関する情報、医療の供給、医療費の保障も含めた保健・医療サービスなどが提供されていること。	一斉 個人 ペア	知識																								
第2次 (1時間目) <本時> P118~119	地域の保健・医療機関の活用① ・健康を保持増進するためには、検診などを通して自己の健康上の課題を的確に把握し、地域の保健所や保健センターなどの保健機関、病院や診療所などの医療機関及び保健・医療サービスなどを適切に活用していくことが必要であること。 ・心身の健康の保持増進にとって、豊かなスポーツライフの実現が重要であることから生涯スポーツの実践を支える環境づくりやその活用についても説明すること。	一斉 個人 グループ	知識 思 判 表																								
(2時間目)	地域の保健・医療機関の活用② ・健康を支える環境づくりにおける事象や情報などについて、健康に関わる原則や概念を基に整理したり、個人及び社会生活と関連づけたりして、自他や社会の課題を発見すること。 ・地域の保健・医療機関やスポーツ施設の活用の仕方について、関連した情報を整理し、生活の質の向上に向けた課題解決に応用すること。	個人 グループ	思 判 表 態度																								
第3次 (1時間目)	医薬品の制度とその活用① ・医薬品は医療用医薬品、要指導医薬品、一般用医薬品の三つに大別され、承認制度によってその有効性及び安全性が審査されていることや販売に規制が設けられていること。 ・疾病からの回復や悪化の防止には、個々の医薬品の特性を理解した上で、使用方法に関する注意を守り、正しく使うことが必要であること。	一斉 個人 グループ	知識																								
(2時間目)	医薬品の制度とその活用② ・医薬品の制度とその活用について、医薬品には承認制度があり、販売に規制が設けられていることと関連付けながら、生活の質の向上のために利用の仕方を整理すること。	グループ	思 判 表																								

●面接終了後、メモ用紙とともにクリアファイルに入れて提出してください。

07

校種・教科等	高等学校・保健体育	受審番号	氏名
--------	-----------	------	----

高等学校『保健体育科』 模擬授業課題

(1) 日 時	令和6年〇月〇日 第〇校時 (50分)																										
(2) 場 所	2年1組教室																										
(3) 学年・学級	第2年1組 (40名)	使用教科書	現代高等保健体育 (大修館出版) P120~121																								
(4) 単 元 名	健康を支える環境づくり (ウ) 保健・医療制度及び地域の保健・医療機関																										
(5) 指導する生徒の状況	<p>【既習事項】中学校では、社会の取組として地域には保健所や保健センターがあることや個人の取組として各機関が持つ機能を有効に利用する必要があることについて学習している。また、住民の健康診断や健康相談など地域の保健活動についても学習している。さらに、心身の不調の場合は、できるだけ早く医療機関を受診することや医薬品の主作用及び副作用、使用方法についても学んでいる。</p> <p>【単元のねらい】</p> <ul style="list-style-type: none"> 健康を支える環境づくりについて、自他や社会の課題を発見し、その解決を目指した活動を通して、理解を深めることができるようにする。 (ウ) 生涯を通じて健康を保持増進するには、保健・医療制度や地域の保健所、保健センター、医療機関などを適切に活用することが必要であることを理解することができるようにする。また、医薬品は、有効性や安全性が審査されており、販売には制限があることや疾病からの回復や悪化の防止には、医薬品を正しく使用することが有効であることについて理解することができるようにする。 健康を支える環境づくりに関する情報から課題を発見し、健康に関する原則や概念に着目して解決の方法を思考し判断するとともに、それらを表現することができるようにする。 <p>【生徒の状況】 個人思考の場面では考えが出にくい生徒が数名いるため、授業ではペア及びグループ活動を多く取り入れている。活動をする際には積極的に取り組むことができるが、一部の生徒の意見に偏っている場面が見受けられる。</p>																										
(6) 指導計画 (全5時間)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>次 (時数)</th> <th>学習内容</th> <th>活動・指導形態</th> <th>評価計画</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>第1次 (1時間目)</td> <td>我が国の保健・医療制度 ・人々の健康を支えるための保健・医療制度が存在し、行政及びその他の機関などから健康に関する情報、医療の供給、医療費の保障も含めた保健・医療サービスなどが提供されていること。</td> <td>一斉 個人 ペア</td> <td>知識</td> </tr> <tr> <td>第2次 (1時間目)</td> <td>地域の保健・医療機関の活用① ・健康を保持増進するためには、検診などを通して自己の健康上の課題を的確に把握し、地域の保健所や保健センターなどの保健機関、病院や診療所などの医療機関及び保健・医療サービスなどを適切に活用していくことが必要であること。 ・心身の健康の保持増進にとって、豊かなスポーツライフの実現が重要であることから生涯スポーツの実践を支える環境づくりやその活用についても説明すること。</td> <td>一斉 個人 グループ</td> <td>知識</td> </tr> <tr> <td>(2時間目)</td> <td>地域の保健・医療機関の活用② ・健康を支える環境づくりにおける事象や情報などについて、健康に関わる原則や概念を基に整理したり、個人及び社会生活と関連づけたりして、自他や社会の課題を発見すること。 ・地域の保健・医療機関やスポーツ施設の活用の仕方について、関連した情報を整理し、生活の質の向上に向けた課題解決に応用すること。</td> <td>個人 グループ</td> <td>思・判・表 態度</td> </tr> <tr> <td>第3次 (1時間目) <本時> P120~121</td> <td>医薬品の制度とその活用① ・医薬品は医療用医薬品、要指導医薬品、一般用医薬品の三つに大別され、承認制度によってその有効性や安全性が審査されていることや販売に規制が設けられていること。 ・疾病からの回復や悪化の防止には、個々の医薬品の特性を理解した上で、使用方法に関する注意を守り、正しく使うことが必要であること。</td> <td>一斉 個人 グループ</td> <td>知識</td> </tr> <tr> <td>(2時間目)</td> <td>医薬品の制度とその活用② ・医薬品の制度とその活用について、医薬品には承認制度があり、販売に規制が設けられていることと関連付けながら、生活の質の向上のために利用の仕方を整理すること。</td> <td>グループ</td> <td>思・判・表</td> </tr> </tbody> </table>			次 (時数)	学習内容	活動・指導形態	評価計画	第1次 (1時間目)	我が国の保健・医療制度 ・人々の健康を支えるための保健・医療制度が存在し、行政及びその他の機関などから健康に関する情報、医療の供給、医療費の保障も含めた保健・医療サービスなどが提供されていること。	一斉 個人 ペア	知識	第2次 (1時間目)	地域の保健・医療機関の活用① ・健康を保持増進するためには、検診などを通して自己の健康上の課題を的確に把握し、地域の保健所や保健センターなどの保健機関、病院や診療所などの医療機関及び保健・医療サービスなどを適切に活用していくことが必要であること。 ・心身の健康の保持増進にとって、豊かなスポーツライフの実現が重要であることから生涯スポーツの実践を支える環境づくりやその活用についても説明すること。	一斉 個人 グループ	知識	(2時間目)	地域の保健・医療機関の活用② ・健康を支える環境づくりにおける事象や情報などについて、健康に関わる原則や概念を基に整理したり、個人及び社会生活と関連づけたりして、自他や社会の課題を発見すること。 ・地域の保健・医療機関やスポーツ施設の活用の仕方について、関連した情報を整理し、生活の質の向上に向けた課題解決に応用すること。	個人 グループ	思・判・表 態度	第3次 (1時間目) <本時> P120~121	医薬品の制度とその活用① ・医薬品は医療用医薬品、要指導医薬品、一般用医薬品の三つに大別され、承認制度によってその有効性や安全性が審査されていることや販売に規制が設けられていること。 ・疾病からの回復や悪化の防止には、個々の医薬品の特性を理解した上で、使用方法に関する注意を守り、正しく使うことが必要であること。	一斉 個人 グループ	知識	(2時間目)	医薬品の制度とその活用② ・医薬品の制度とその活用について、医薬品には承認制度があり、販売に規制が設けられていることと関連付けながら、生活の質の向上のために利用の仕方を整理すること。	グループ	思・判・表
次 (時数)	学習内容	活動・指導形態	評価計画																								
第1次 (1時間目)	我が国の保健・医療制度 ・人々の健康を支えるための保健・医療制度が存在し、行政及びその他の機関などから健康に関する情報、医療の供給、医療費の保障も含めた保健・医療サービスなどが提供されていること。	一斉 個人 ペア	知識																								
第2次 (1時間目)	地域の保健・医療機関の活用① ・健康を保持増進するためには、検診などを通して自己の健康上の課題を的確に把握し、地域の保健所や保健センターなどの保健機関、病院や診療所などの医療機関及び保健・医療サービスなどを適切に活用していくことが必要であること。 ・心身の健康の保持増進にとって、豊かなスポーツライフの実現が重要であることから生涯スポーツの実践を支える環境づくりやその活用についても説明すること。	一斉 個人 グループ	知識																								
(2時間目)	地域の保健・医療機関の活用② ・健康を支える環境づくりにおける事象や情報などについて、健康に関わる原則や概念を基に整理したり、個人及び社会生活と関連づけたりして、自他や社会の課題を発見すること。 ・地域の保健・医療機関やスポーツ施設の活用の仕方について、関連した情報を整理し、生活の質の向上に向けた課題解決に応用すること。	個人 グループ	思・判・表 態度																								
第3次 (1時間目) <本時> P120~121	医薬品の制度とその活用① ・医薬品は医療用医薬品、要指導医薬品、一般用医薬品の三つに大別され、承認制度によってその有効性や安全性が審査されていることや販売に規制が設けられていること。 ・疾病からの回復や悪化の防止には、個々の医薬品の特性を理解した上で、使用方法に関する注意を守り、正しく使うことが必要であること。	一斉 個人 グループ	知識																								
(2時間目)	医薬品の制度とその活用② ・医薬品の制度とその活用について、医薬品には承認制度があり、販売に規制が設けられていることと関連付けながら、生活の質の向上のために利用の仕方を整理すること。	グループ	思・判・表																								

●面接終了後、メモ用紙とともにクリアファイルに入れて提出してください。

07

校種・教科等	高等学校・保健体育	受審番号	氏名
--------	-----------	------	----

高等学校『保健体育科』 模擬授業課題

(1) 日 時	令和6年〇月〇日 第〇校時 (50分)																						
(2) 場 所	2年1組教室																						
(3) 学年・学級	第2学年1組 (40名)	使用教科書	現代高等保健体育 (大修館出版) P110~111																				
(4) 単 元 名	健康を支える環境づくり (イ) 食品と健康																						
(5) 指導する生徒の状況	<p>【既習事項】</p> <p>中学校では健康と環境に関する分野で飲料水や空気の衛生的管理及び生活に伴う廃棄物の衛生的管理について学んでいる。高校入学後は、前時までに環境と健康の単元で、人間の生活や産業活動は自然環境を汚染し健康に影響を及ぼすことがあることやそれらを防ぐには汚染の防止及び改善前の対策をとる必要があることについて学習している。また、環境衛生活動は学校や地域の環境を健康に適したものとすよう基準が設定され、それに基づき行われていることについても学習している。</p> <p>【単元のねらい】</p> <ul style="list-style-type: none"> 健康を支える環境づくりについて、自他や社会の課題を発見し、その解決を目指した活動を通して、理解を深めることができるようにする。 (イ) 食品の安全性を確保することは健康を保持増進する上で重要であること。また、食品衛生活動は、食品の安全性を確保するよう基準が設定され、それに基づき行われていることについて理解することができるようにする。 健康を支える環境づくりに関する情報から課題を発見し、健康に関する原則や概念に着目して解決の方法を思考し判断するとともに、それらを表現することができるようにする。 <p>【生徒の状況】</p> <p>個人思考の場面では考えが出にくい生徒が数名いるため、授業ではペア及びグループ活動を多く取り入れている。活動をすすめる際には積極的に取り組むことができるが、一部の生徒の意見に偏っている場面が見受けられる。</p>																						
(6) 指導計画 (全4時間)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>次 (時数)</th> <th>学習内容</th> <th>活動・指導形態</th> <th>評価計画</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>第1次 (1時間目) <本時> P110~111</td> <td> 食品の安全性① ・人々の健康を支えるためには食品の安全性を確保することが重要であり、食品の安全性が損なわれると健康に深刻な被害をもたらすこと。 ・食品の安全性を確保することは健康の保持増進にとって重要であること。 ・食品による食物アレルギーを起こす可能性もあること。 </td> <td>一斉 個人 ペア</td> <td>知識</td> </tr> <tr> <td>(2時間目)</td> <td> 食品の安全性② ・食品の安全性と食品衛生に関わる活動について、習得した知識を自他の日常生活に適用して健康被害の防止と健康を保持増進するための計画を立てること。 </td> <td>個人 グループ</td> <td>思・判・表</td> </tr> <tr> <td>第2次 (1時間目)</td> <td> 食品衛生に関わる活動① ・食品の安全性を確保するために食品衛生法などの法律等が制定されており、様々な基準に基づいて食品衛生活動が行われていること。 ・食品の製造・加工・保存・流通など、各段階での適切な管理が重要であること。衛生管理の一つの方法である危害要因分析重要管理点 (HACCP) 方式などについても説明すること。 ・食品衛生に関わる健康被害の防止と健康の保持増進には、適切に情報を公開、活用するなど行政・生産者・製造者・消費者などが互いに関係を保ちながら、それぞれの役割を果たすことが重要であること。 </td> <td>個人 グループ</td> <td>知識 態度</td> </tr> <tr> <td>(2時間目)</td> <td> 食品衛生に関わる活動② ・健康を支える環境づくりについて、自他や社会の課題の解決方法と、それを選択した理由などを話し合ったり、ノートなどに記述したりして、筋道を立てて説明すること。 </td> <td>一斉 個人 グループ</td> <td>思・判・表</td> </tr> </tbody> </table>			次 (時数)	学習内容	活動・指導形態	評価計画	第1次 (1時間目) <本時> P110~111	食品の安全性① ・人々の健康を支えるためには食品の安全性を確保することが重要であり、食品の安全性が損なわれると健康に深刻な被害をもたらすこと。 ・食品の安全性を確保することは健康の保持増進にとって重要であること。 ・食品による食物アレルギーを起こす可能性もあること。	一斉 個人 ペア	知識	(2時間目)	食品の安全性② ・食品の安全性と食品衛生に関わる活動について、習得した知識を自他の日常生活に適用して健康被害の防止と健康を保持増進するための計画を立てること。	個人 グループ	思・判・表	第2次 (1時間目)	食品衛生に関わる活動① ・食品の安全性を確保するために食品衛生法などの法律等が制定されており、様々な基準に基づいて食品衛生活動が行われていること。 ・食品の製造・加工・保存・流通など、各段階での適切な管理が重要であること。衛生管理の一つの方法である危害要因分析重要管理点 (HACCP) 方式などについても説明すること。 ・食品衛生に関わる健康被害の防止と健康の保持増進には、適切に情報を公開、活用するなど行政・生産者・製造者・消費者などが互いに関係を保ちながら、それぞれの役割を果たすことが重要であること。	個人 グループ	知識 態度	(2時間目)	食品衛生に関わる活動② ・健康を支える環境づくりについて、自他や社会の課題の解決方法と、それを選択した理由などを話し合ったり、ノートなどに記述したりして、筋道を立てて説明すること。	一斉 個人 グループ	思・判・表
次 (時数)	学習内容	活動・指導形態	評価計画																				
第1次 (1時間目) <本時> P110~111	食品の安全性① ・人々の健康を支えるためには食品の安全性を確保することが重要であり、食品の安全性が損なわれると健康に深刻な被害をもたらすこと。 ・食品の安全性を確保することは健康の保持増進にとって重要であること。 ・食品による食物アレルギーを起こす可能性もあること。	一斉 個人 ペア	知識																				
(2時間目)	食品の安全性② ・食品の安全性と食品衛生に関わる活動について、習得した知識を自他の日常生活に適用して健康被害の防止と健康を保持増進するための計画を立てること。	個人 グループ	思・判・表																				
第2次 (1時間目)	食品衛生に関わる活動① ・食品の安全性を確保するために食品衛生法などの法律等が制定されており、様々な基準に基づいて食品衛生活動が行われていること。 ・食品の製造・加工・保存・流通など、各段階での適切な管理が重要であること。衛生管理の一つの方法である危害要因分析重要管理点 (HACCP) 方式などについても説明すること。 ・食品衛生に関わる健康被害の防止と健康の保持増進には、適切に情報を公開、活用するなど行政・生産者・製造者・消費者などが互いに関係を保ちながら、それぞれの役割を果たすことが重要であること。	個人 グループ	知識 態度																				
(2時間目)	食品衛生に関わる活動② ・健康を支える環境づくりについて、自他や社会の課題の解決方法と、それを選択した理由などを話し合ったり、ノートなどに記述したりして、筋道を立てて説明すること。	一斉 個人 グループ	思・判・表																				

●面接終了後、メモ用紙とともにクリアファイルに入れて提出してください。